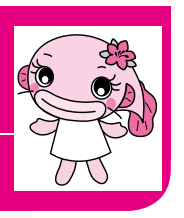
よしかわ議会だより

NO.181
令和元年5月1日



発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目１番地
ＴＥＬ　048（982）9421（議会事務局 直通）
ＦＡＸ　048（981）5392
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp

第24回なまずの里マラソンのようす

平成31年度予算を可決

今号の主な内容

平成31年度予算を可決……①～②
施政方針に会派代表者が問う！……③
答えて市長！一般質問……④～⑥
常任委員会の審査から……⑦
審議結果・編集後記……⑧

マチイロ 検索

3月定例会の概要

3月定例会は、2月25日から3月20日までの24日間にわたり開催されました。

市長提出議案51件は、すべて原案のとおり可決・同意しました。議員提出議案は4件を上程、1件を否決、3件を可決しました。

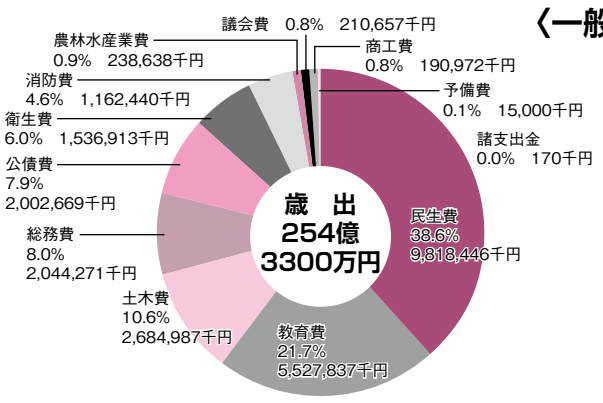
また、3日間にわたり行われた「市政に対する一般質問」では、16人の議員が市政全般にわたり市の見解をただしました。

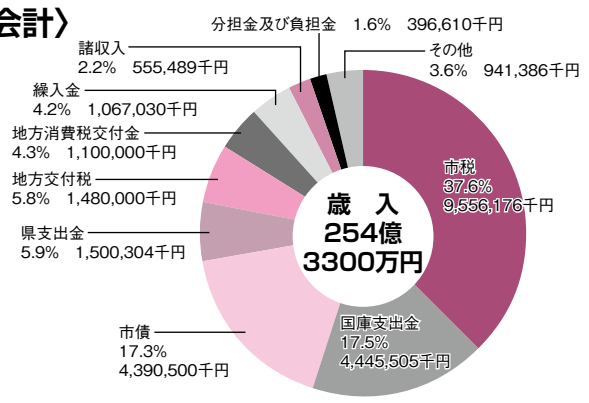
市長提出議案

新年度一般会計予算 254億3300万円でスタート

一般会計の予算は、前年度比11・1％増の254億3300万円となり、「第5次総合振興計画後期基本計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進することを主柱に、様々な事業が展開されます。

〈一般会計〉





特別会計など 新年度予算決まる

5つの特別会計と水道事業会計、下水道事業会計の平成31年度予算は左表の通り決まりました。

●水道事業会計

収益的収入及び支出	予算額（千円）
水道事業収益	1,569,643
水道事業費用	1,562,484

資本的収入及び支出＊注	予算額（千円）
資本的収入	182,047
資本的支出	838,823

●特別会計

会　計　別	予算額（千円）	前年度比（％）
国民健康保険	6,978,659	1.5
農業集落排水事業	30,333	2.3
介　護　保　険	3,829,356	2.3
後期高齢者医療	656,102	2.4
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業	2,484,553	82.2
合　　計	13,979,003	10.9

●下水道事業会計

収益的収入及び支出	予算額（千円）	資本的収入及び支出＊注	予算額（千円）
下水道事業収益	1,408,309	資本的収入	660,228
下水道事業費用	1,358,865	資本的支出	921,369

注：資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、損益勘定留保資金などで補てんする。

市長提出議案――次ページへ続く

討論

◆平成31年度一般会計予算
3名の議員が討論を行いました。討論の要旨は次のとおりです。

反対

日本共産党吉川市議員団　遠藤　義法

政府の調査で景気回復を「実感していない」が84％です。市民生活が苦しい現実を見ないで市政運営・施策を行う事は大いに問題です。

高齢者は通院などで交通手段がなく困っています。地域限定のタクシー利用補助はありますが、すべての市民の公共交通要望に応える姿勢にたっていません。演劇プロジェクト予算として400万円が計上されています。劇団の自主的な活動が生まれています。市は、自主的な活動を支援すべきで、市主催事業との姿勢に厳しい批判の声が上がっています。

市が道路補修を必要とする31カ所に対し、予算化は5カ所で、積極的に予算化すべきです。

政府の民意にそむく施策のもと、「住民の福祉の増進」を役割とする地方自治体は、暮らしを守る役割をしっかり果たすべきです。

賛成

公明党吉川市議団　小野　潔

平成31年度一般会計予算は、254億3300万円です。施政方針冒頭では、「SDGsを意識した事業計画のもと」とSDGsを施策推進の理念に掲げられました。SDGsは公明党が国会においても力強く推進してきたものです。「人間の安全保障、誰一人取り残さない」とのSDGsの理念は「一人を大切にする」との党是と全く同じものです、大いに期待します。

野田市での女児虐待死事件をうけ市長は「当市では一人の子供の命も失わせない」と言われました。今後の児童虐待防止、子どもの貧困対策に期待をします。小中学校の普通・特別教室へのエアコン設置が今夏までに行われる事を大いに評価します。また避難所となる学校体育館へのエアコン設置の推進を望みます。「演劇プロジェクト」が発展し「子ども達の表現教育」として、教育現場との連携に期待します。

賛成

未来会議よしかわ　林　美希

市の一般会計予算としては過去最高であった平成29年度に次ぐ額での上程となるが、これは地域住民待望の吉川中学校建設事業費、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計繰出金が大きく影響するものであり、また、発達に特性をもつ幼児の増加を受け、その保育の量の確保を目的に公営存続の決断がされた第二保育所再整備事業は市の保育行政に大きな進歩をもたらすものと考える。

市の価値を向上させるために会派所属議員が研究、提言してきた政策が反映され、また、堅実なインフラ整備にも目を向けられた予算となっている。

市民のみなさまが「価値ある未来をともに」つくることを望まれた結果が先の市長選挙の結果であり、会派として市政の前進を後押ししていくことを申し添え、来年度一般会計予算に賛成の立場を示す。

◆平成31年度吉川市一般会計予算に対する付帯意見
2名の議員が討論を行いました。討論の要旨は次のとおりです。※付帯意見の詳細は7頁をご覧ください。

反対

未来会議よしかわ　戸田　馨

文教福祉常任委員会における提案者への質疑応答の結果、提案者は「演劇プロジェクト」「演劇ワークショップ」「市民劇団」について誤った認識を持っていると考えられる。

文化芸術推進を総合政策とするための旗手事業が演劇事業であると説明を受けている中、附帯意見要旨1も誤りである。

議会は附帯意見を付することや反対の立場を示すこと等で市政に対するチェック機能を果たすことが可能だが、経緯や現状を的確に把握し、理解することが大前提と考える。市主催事業と任意団体の自主的な活動のすみわけ含め、この附帯意見に賛成する議員の認識を問いたい。

未来会議よしかわは提案者の認識に誤りがあると受け止め、その誤った認識の上に成り立つこの附帯意見を付することに対し、反対の立場を示す。

賛成

市民の会・無所属　濱田　美弥

「総合文化芸術政策」としてどう位置づけるのか、部課長はじめ、職員が同じ目的意識を持って進めるよう十分な説明と議論が必要です。市民劇団・演劇ワークショップ・演劇プロジェクトなど、毎年のように変わる「演劇」についての文言、その違いはわかりづらく、市民に広く理解を得られている状態とは言えません。他団体とのバランス・意向も受け止めながら、多くの市民の理解と賛同を得られる事業として進めていくべきです。今年度は、劇団創設3年目となります。自立の時期、自らの力で企画・運営を行うべきです。文化芸術に興味を持たれた企業からご寄付があったとの事です。講師料や部屋代、照明代なども会費・寄付金等で自ら予算だてするとともに、稽古場やホールの優先的使用は止め、予約なども職員に任せず自ら行うよう、自立を求めます。

市長提出議案――前ページから続き

平成31年度一般会計　こんな事業を実施します

中学校建設事業　28億2239万0000円

平成30年度から約2か年をかけて校舎等の建設を進めています。平成31年度は校舎や付属建物、外構工事等に着手し、平成32年度4月の開校を目指します。

＊イラストはイメージです。

第二保育所再整備事業　4億7621万0000円

築45年が経過した吉川市立第二保育所の建て替えを実施します。公設公営を維持し、発達に不安のある子供たちを積極的に支援して行きます。

市民参加推進事業　6846万0000円

「みらいステップアップ助成金」や「市民シンクタンク」事業を継続するとともに、自治会活動や地域自治についての専門家を招き、市民との協働事業の推進を目指します。

保育委託事業　14億5540万0000円

個別にサポートが必要な障がい児の受け入れ体制を整えるため、障がい児保育補助者を雇用する民間保育施設に対する補助を新たに実施します。

人事案件

◆教育長
平成31年3月31日をもって任期を満了となる染谷行宏氏の後任に戸張利恵氏が選任されました。

中原市長の施政方針に
会派代表者が問う！

◆市長の施政方針より◆
▼市民の安全・安心を高める
▼子どもの笑顔で満たされるまちをつくる
▼まちの価値を高める
▼まちの住みよさを高める

「幸福実感のあるまち」「持続可能なまち」の実現、そして、「価値ある未来」の創出に持ちうるすべての力を注いでまいります。

市民の会・無所属　降旗　聡

(問) 地域における減災力の向上と体制強化について。

(答) 減災プロジェクトにおいて、自治会や自主防災組織の方々をはじめ、地域の中学生や外国人の方なども参加し、自宅から指定避難所までの避難訓練や避難所開設訓練、住宅避難者への備蓄物資の配送訓練など、より実践的な訓練を実施し、自助・共助の意識向上を図ってきた。今後も継続していく。

(問) 吉川市教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律と大きく乖離（かいり）しているが、見直しと、吉川市独自の「志」教育について。

(答) 見直す考えはない。また志教育については、県が発行しているものをアレンジした、夢を育みそれを志に高めることを目標とした「私の志ノート」を作成し、自らの成長を振り返るひとつの視点として活用している。

(問) 地域公共交通会議を設置する考えについて。

(答) アンケート調査や市全域を対象とした移動実態調査などにより、市民ニーズを把握して公共交通のより一層の充実に努める。

公明党吉川市議団　互　金次郎

(問) 野田市での悲惨な事件等を受け、国は児童虐待防止に向け、関係機関の連携や民法の「懲戒権」の見直し等、様々検討されています。市長の「児童虐待防止」への思いは。

(答) 関係機関との連携を強化し、当市では一人の子供の命も失わせないとの強い気持ちです。

(問) 公明党市議団は、昨年「避難所指定を受けている小中学校体育館へのエアコン設置」要望書を提出いたしました。財政負担軽減の観点から「緊急防災・減災事業債」を活用し体育館のエアコン設置も検討すべきでは。

(答) 緊急防災・減災事業債は有効な財源と認識するが、使用が災害時のみに限定され、水害時における避難所としての使用も勘案しての判断が必要です。

(問) 「子供達の表現教育」として学校教育現場と連携し、多くの子どもたちが一流の演劇文化に触れ、将来にわたる演劇文化の底上げを図ることも考えては。

(答) 児童館で実施した応用演劇「アプライド・ドラマ」では、子どものコミュニケーション能力等、非認知能力向上にも効果があり、今後、学校と連携した事業について検討します。

日本共産党吉川市議員団　雪田　きよみ

(問) 市長選挙で、「市長と議会との対立」と一部で報道された。地方自治の本旨である「住民福祉の増進」を中心に考え、反対意見にも耳を傾ける姿勢があれば、対立は生まれない。

(答) 正確に政策をお伝えして、頂く指摘があれば取り入れて、4年間を過ごしていきたい。

(問) 施政方針には、市民生活に目を向けた記述が全く見られない。今後の施策については。

(答) 全ての分野において、住民福祉は網羅して取り組まなくてはいけない。その基本は、市民との共動。限りある財源、持続可能な行政運営こそ大事。

(問) 「吉川独自の志教育」「非認知能力を意識した教育活動の展開」は教育への介入。教育は中立であり、ここまで介入する法的な根拠は。

(答) 教育の中立性は十分理解している。子どもたちへの教育がこの街の住民福祉につながると信じている。

(問) 「政策の一歩目を市民と共有」としているが、市民と共に繰り返し考え、より良いものに練り上げる姿勢こそ大事では。

(答) 市民の皆さんと、一歩目を踏み出すところを共有したい。

未来会議よしかわ　戸田　馨

(問) 2期目における重要政策について伺う。

(答) 「総合運動公園」の整備や、小中学校への「エアコン」設置、また「旧庁舎の跡地」の福祉拠点化などの大きな事業と共に、吉川市における「エネルギー」や「水道事業」のビジョンや「スポーツと健康、長寿」を一体的に捉えた指針の策定などが重要政策となる。さらに、「地域課題を地域住民が解決するために、主体的に計画と予算を組み立てる」という、新たな「市民と行政との共動事業」にもチャレンジする。

(問) 旭、三輪野江地区の今後のビジョンについて伺う。

(答) ＩＣＴ教育、放課後こども教室等の教育環境整備を展開してきた。今後は放課後の通学路の防犯面の安全性向上を図ってゆく。また、東埼玉テクノポリス拡張、三郷スマートＩＣ周辺整備等により産業基盤の整備を進める。さらに旭地区の「市民農園再整備」、三輪野江地区の「農業パーク構想」実現による地域拠点整備を進め、農商工の一体的な産業振興の中で若者や子育て世代の流入を図ってゆく。

自由民主党吉川市議員団　松﨑　誠

(問) 市民と行政との共動について市長の思いが前面に出すぎている、議会との意思疎通が十分でないとの意見がある中、二期目でのお考えを伺います。

(答) これまで通りしっかりと説明させて頂き更なる幸福実感向上と次世代のための持続可能な市政運営に邁進してまいります。

(問) 演劇プロジェクトについて文化芸術の一分野に市の資源を選択的に集中し、批判の多い事業であり、この点をどう評価し、継続して推進されるのかを伺います。

(答) 演劇プロジェクトを展開することで、市民意識調査の芸術文化に触れあう機会に関する満足度が30％から55％に上昇したことからも市民の皆様に一定の評価を頂いたものと思います。

(問) 行政サービスの水準を将来にわたって維持し、新たな財源をどこに求めていくかは、重要な課題で、「東埼玉テクノポリスの拡張」はその柱になると考えますが市長の見解を伺います。

(答) 産業振興や雇用の拡大を図るための産業拠点と位置付けていることからも引き続き事業化に向けて企業局と意見交換を行ってまいります。

議員提出議案

意見書

今定例会では、4件を上程し、次の3件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。（一部抜粋）

幼児教育・保育の無償化に関する意見書

幼児教育・保育の無償化について、より実効性の高いものとなるべく、「地方自治体に新たな財政負担が生じないようにすること」、「幼児教育・保育の質の担保・向上の仕組みを構築すること」を強く求める。

放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書

国は人員基準の規制緩和を検討するとしているが、児童の安全確保のためには、職員の量的な確保と質の向上が不可欠。「児童の安全が確保されるよう堅持すること」、「給与等の処遇改善の更なる対策をすること」を強く求める。

養育費の立替払いの制度作りを求める意見書

子どもの貧困の放置は、社会的損失につながる。養育費支払いの滞り・支払拒否などを起こさないよう、子どもの養育にしっかりと親が関わり、親の離婚においてこどもが受ける経済的不利益を軽減するよう、早期の法整備を求める。

答えて市長！一般質問

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。
会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は6月上旬となる予定です。

本会議録画配信はこちらから↓

多様な働き方について現状認識と課題解決を

妹尾　百合子

(問) 就労を希望しながらその実現が困難な環境にある市民（女性、シニア、障がい者など）への支援が必要と考える。①現状認識は。②課題解決に向けた取り組みは。③旧庁舎跡地を福祉の拠点としていく考えがある中で、障がい者の就労支援の場となる事も検討いただきたい。④リモートワークの推進が課題解決の手法の一つと考える。如何か。⑤市内公共施設におけるインフラ整備（Wi-Fi、電源等）の設置を要望するが見解は。

(答)**産業振興部長**　①今後も労働力不足が深刻化すると見込まれる中、国や県においても推進しているテレワークの活用が当市においても必要性が高まると認識している。②潜在的なニーズがあると考えている。テレワーク実践支援事業を行っていきたい。④リモートワークは時間や場所を有効に活用し柔軟な働き方を可能にするものなので、市民が働き方の一つとして選択出来るよう取り組んで行きたい。⑤市民ニーズを把握し、検討していきたい。

(答)**こども福祉部長**　③平成31年度から庁内において具体的な検討作業を開始したい。作業にあたっては、行政課題を精査するとともに、当事者の方々から具体的に意見を伺いたい。

吉川市の教育大綱と総合教育会議について伺う

濱田　美弥

(問) 文部科学省から平成27年に示された「教育大綱策定」について会派で自主学習会を開催し、この学習会で「教育大綱」とは教育委員会と市長部局が連携して行う事務をどのように進めていくかの指針のことで、吉川市独自の「教育大綱」として作られたものは、教育大綱ではなく市内の子どもたちに向けた「教育理念」であることがわかりました。「理念」であれば、教育の中立性から鑑みて「市長」という政治家の「理念」を教育に介入させるわけにはいきません。一旦取り下げ、新たに策定すべきですが、市のお考えをお示し下さい。「教育委員会」は政治的中立を守るために防波堤となるべきです。今後のあり方をお示し下さい。

(答)**教育長**　教育委員会とは、政治的な介入が許されない独立した組織であると考えており、これまで通り山積する教育課題に対応して参ります。

(答)**教育部長**　教育委員の皆様や有識者と意見交換を重ね策定したもので、市長が代表質問で降旗代表にお答えした通りであると考えております。文章の中にまで地域性を含めることは必要ではなく、「吉川独自」の考え方で一文にする、シンプルにする、としたものであります。

スリーデイズチャレンジ事業の充実と若者支援充実を

五十嵐　恵千子

(問) ①益々重要な当事業の現状と今後の取り組みについて伺う。②当事業の実施を契機に、教育と福祉が一体となった「若者包括支援センター」の設置を。

(答)**教育部長**　①職場体験の実践が経験のみに終わり本来の機能が充分に果たされない傾向も見受けられる。事業のねらいや目的を明確にし、質的向上を図る。

(答)**市長**　②義務教育が終わった後の子ども達や青年への支援は何処の自治体も薄いと感じている。当市は、アウトリーチで不登校・引きこもり対策も始まるので、しっかり進めて行きたい。

◆フードドライブ活動の実施を

(問) 以前提案したフードバンクに繋がる重要な当活動は、家庭などで余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをフードバンクなどに寄付する活動です。実施への見解を伺う。

(答)**こども福祉部長**　今後、関係する団体へ声掛けし、子どもの貧困対策計画に基づきフードドライブを含めた「フードバンク等取り組みの促進」を図る。

◆安全な橋梁の維持・改善を

(問) 吉川市橋梁長寿命化修繕計画の進捗状況と危険橋梁改善を。

(答)**都市整備部長**　当市、173橋梁を点検し16橋梁で修繕実施。

日本人と外国人の婚姻等届け出について

小野　潔

(問) 日本人と外国籍の方との婚姻も増加傾向にあり、窓口対応も煩雑化、多様化している。婚姻では、様々な国籍の方の応対が必要。①国際結婚のここ数年の推移は、また主な外国籍の方は。②在日大使館、領事館で婚姻要件具備証明書ですむ国、出生証明書、独身証明書を本国からの取り寄せですむ国、本国まで行って取得する戸籍謄本が必要な国があるが、本国まで行く主な国は。③5人で窓口対応をしているが、1人専門的に対応する職員を養成、配置しては。

(答)**総務部長**　①28年20件、29年19件、30年27件、主な国は中国、フィリピン、韓国②台湾など③丁寧な対応ができるよう検討する。

(問) 現年度分課税徴収はその年度内に督促、催告、差し押さえとなる。三郷市では、督促後、電話やSMS等を送る納付呼びかけセンターを開設している。当市での導入は。

(答)**総務部長**　研究する。

(問) 一人暮らしの高齢者を見守る際、警察を呼び、窓を割って安否確認をする事態が起こり親族の了解を得る必要が生じた時、緊急連絡先等市の保有する個人情報の活用は出来るのか。

(答)**こども福祉部長**　生命に関わるやむを得ない時は活用する。

農地の維持管理について市の支援策は

松﨑　誠

(問) 農道や農業用水路の点検、簡易な補修など維持管理は各地区の関係者の皆様によって管理されているが今後、関係農家だけに維持管理を任せることが困難になると思われます。維持管理について行政の支援が必要と思われますが見解を伺います。

(答)**産業振興部長**　水路や農道の維持管理は地域の農事組合が主体となり行って頂いています。一部地域から高齢化により活動が困難とも聞いています。多面的機能支払交付金事業の活用を促し負担軽減を図っていきます。

(問) 市街化調整区域の市道の舗装整備をどう進め、要望者への対応はどうしているのか。

(答)**都市整備部長**　窓口や電話において、多数の要望が寄せられていて、通行に支障を期さないよう危険性や緊急性の高い個所から優先的に、対応を行う方針を要望者に伝え、維持補修や道路改良の実施に努めています。

(問) 松高地区にある資材置き場。現在、資材置き場として利用されている土地以外に市道にも車両が放置されています。現状の把握と今後の対策を伺います。

(答)**都市整備部長**　平成31年度当初予算に用地測量委託料を計上させて頂き、適正な道路環境が保てるよう地権者と交渉を進めていきます。

旧第三保育所跡地（飯島地内）活用には地域要望を

小林　昭子

(問) 旧第三保育所を園舎として活用しているコビープリスクール（保育園）が、吉川美南へ移転します。市はこれまで、土地は市の所有であり、園舎解体後、市関連施設をとの見解でした。

この地域には公園も無く、高齢者、こども、子育て世代からは交流出来る場が欲しいと切実な声が寄せられています。

跡地活用に際しては、この様な地域の声をしっかり聴き事業を進めていただきたい。

(答)**こども福祉部長**　昨年、第二保育所建て替え決定に伴い、当園舎を新園舎建設完成までの間、仮園舎として使用します。用地の活用は、現時点では、未定であるが、今後、庁内で議論します。

◆三輪野江地区の土地利用

(問)　2年前市長キャラバンで「常磐道北側を農業関連施設等の整備を検討する」としたがその方針は変更ないのか。又、市長の政策チラシに掲載された農業パーク・道の駅などの計画の場所はどこになるのか。

(答)**市長**　イラストについてはイメージ図であり、場所・内容を特定しものではありません。

(答)**産業経済部長**　市長キャラバ時の方向で千葉大学の助言をいただき検討を進めています。

幼児教育の無償化にあたって市の対応は

遠藤　義法

(問)　政府の幼児教育無償化は問題が多い。公立保育所はすべて市の負担となっている。給食費も保護者負担となる。給食費の無償化含め、政府に財政負担を求めるべきである。

(答)**こども福祉部長**　関連法案が審議されているので意見を言える立場にない。給食費は、低所得者に対して配慮されている。

(答)**総務部長**　無償化の詳細が明らかになっていないので影響の試算はできないが、地方交付税で措置されるものと考えている。

◆事業の企画に市職員の英知を

(問)　市が事業を立案・計画するために市職員の英知を集める組織、専門性を培うべきではないか。具体的に高齢者のタクシー利用料助成事業、関公園の整備について施策課題と検討内容、結論に至った経過を問う。

(答)**政策室長**　事業の方向性は、各部署の職員が調査・協議を行い、結論を導き出している。専門職種もあるが、事業が円滑に行えるよう職員配置、研修を行っている。タクシー利用補助事業は、アンケートからドアツードアが適していると判断した。

(答)**都市整備部長**　多くの公園が老朽化しており、地域からの要望を踏まえて職員で検討、スケジュールを組んだ事業化をした。

第2期「中原市政」のスタートにあたり

稲垣　茂行

(問)　選挙結果をどう受け止め、「まちづくり」を進めるのか。

(答)**市長**　これまで進めてきた政策と未来ビジョンに、信託を受けたものと理解している。重要施策をしっかりと進めて行く。

(問)　有権者の57％が投票をしていない。「声なき声」を市政にどう反映させるのか。

(答)**市長**　幅広く理念を届ける。

(問)　「政策リーフレット」と第5次総合振興計画との関係は。公と私的なものが逆転では。

(答)**市長**　総合振興計画を前提に作成しており、問題はない。

(問)　市議補選の選挙ポスターに市長の写真が使われた。二元代表制の主旨から問題では。

(答)**総務部長**　選挙管理委員会と警察で、「違法性」はないとの確認をしている。

(問)　政策会議での確認を経ず、演劇の「旗手事業化」決定したのでは。また、３００万円の寄付は「文化芸術活動」へのものでは。なぜ演劇に使うのか。

(答)**教育部長**　所管である教育委員会で決定した。演劇に使いたいとお願いし、了解を得た。

(問)　「はーとふる・ぽっと」跡の活用方法と「おあしす改修」の検討スケジュールは。

(答)**教育部長**　おあしす改修は凍結、白紙を決定。跡地利活用は次年度以降に検討して行く。

「吉川八坂まつり」あばれ神輿駅前競演支援について

加藤　克明

(問)　観光協会を通じて支援とありますが、何を支援するのか。

(答)**産業振興部長**　吉川八坂まつりを将来に向けて発展させたいという関係者の声を受け、実行委員会で神輿の競演について、合意形成を図るため現在、地元調整を行っていると伺っている。合意が得られたら、関係機関との調整など観光協会と連携し支援を考えている。新たな地域、保・木売地区の理解警察協議、公共交通機関の調整が必要。観光協会に提灯の購入及び設置費、警備に関する費用を予算化した。各町会には、人員等の協力をお願いするかもしれないが、金銭的な負担はない形で進めて行きたい。

◆総合運動公園整備の進捗は。

(問)　検討するための協議回数、視察箇所は。

(答)**健康長寿部長**　協議は5回、5箇所の視察を行った。

(問)　視察した5箇所の基本計画策定までの期間は何年か。

(答)**健康長寿部長**　視察先の自治体では、約1～2年で策定。

(答)**市長**　総合運動公園に関して多くの市民の皆さんからご意見を聞き、充分に必要性を感じている。良いものを、良い場所に出来る限り早く、スピード感を持って造って行きたい。

吉川美南駅東口周辺土地区画整理仮置場にガラが混入

齋藤　詔治

(問)　土地の造成は良質な建設発生土で行うべきで、コンクリートガラ等は禁止である。資料により、仮置場の位置・建設発生土搬出先・搬入量・搬入期間が明らかになった。今日までの事業経過対応の説明を。

(答)**都市建設部長**　仮置場は現在の使用地を示しています。搬入量は3万8千立方メートルです。平成30年9月から31年2月迄です。仮置場に建設残土受入は、残土の引き合いが多く、区画整理地内への盛土に支障が来さないように、出来るだけある物はこちらに運んでくれと言うような事でこちらからお願いしました。現在ガラの入った残土の振り分け作業をしています。

◆三輪野江地区インター周辺の農業パーク構想は止めて下さい。

(問)　市長選挙で示されたイラスト区域はフルインター化が可能となる吉川市の重要拠点であり、フルインター化周辺のまちづくりは、土地所有者にも明るい未来が約束される。吉川市単独の開発でなく、三郷市と広域行政で取り組んで頂きたい。

(答)**産業振興部長**　イメージ図であり、これにより場所や規模等を特定するものでなく、三郷市との調整は大変重要であり、連携を密に図って参ります。

地域包括ケアセンターの職員の負担軽減を

雪田　きよみ

(問)　高齢社会が進行し、地域包括支援センターの役割が益々重要になっている。業務実態は。

(答)**健康長寿部長**　高齢者数の増加に伴い相談件数が増え、業務量が増加している。

(問)　要支援者のケアプラン作成は地域のケアマネに委託可能だが、委託が進んでいない。

(答)**健康長寿部長**　要介護と要支援のプラン作成では報酬が2～3倍違う。ケアマネ事業所に介護予防事業の重要性を認識してもらうための意識啓発を行っていく。

(問)　高度な倫理的判断をリアル

答えて市長！一般質問

―次ページへ続く

答えて市長！一般質問――前ページからの続き

タイムで求められる場面も多い。支援する仕組みが必要。対人援助と在宅を熟知した職員の育成も必要。

(答)**健康長寿部長**　長寿支援課で対応していく。連絡会議でも情報共有している。

◆自衛隊員募集に関する協力状況は。

(問)　安倍首相が自衛官募集を「自治体の6割以上が協力拒否」と発言したことが波紋を呼んだ。市の協力状況は。

(答)**総務部長**　自衛隊法第29条に定める事務を行っている。広報への掲載、庁舎内へのポスター掲示、市民祭りへの出店。相談、問い合わせはない。

総合運動公園整備の見通しは

佐藤　清治

(問)　総合運動公園については、これまで整理した検討項目について具体的な検討を行っていくとしているが見通しは。

(答)**健康長寿部長**　具体的な検討に平成31年度から着手するとともに、スポーツ団体をはじめ高齢者の皆様や自治会の皆様と意見交換をすすめてまいりたいと考えております。

◆防災対策について

(問)　第五次吉川市総合振興計画後期基本計画では、大場川、第二大場川の整備はいつになるのか。

(答)**都市整備部長**　県に確認したところ「第二大場川」については完成時期は未定とのことですが少しでも水の流れを良くするため三郷団地付近において部分的に河道堆積土砂の掘削を実施していると聞いております。

(問)　南中周辺については浸水の解消を図るため遊水池の整備が必要ではないか。

(答)**都市整備部長**　当市の治水対策としては河川の改修が不可欠でございます。

しかしながら河川改修には相当の年月を必要とすることから恒久的な「ポンプ施設」の設備なども効果的であると認識しているところでございます。

「きぼうの桜」植樹！未来へと繋がる取り組みに。

稲葉　剛治

(問)　東日本大震災の復興のシンボルである宇宙を旅した「きぼうの桜」が植樹される事が決まった。宇宙との繋がり、災害と復興の記憶の継承、きぼうの桜を通じた関係自治体間の交流など、きぼうの桜を植樹する事には様々な意味、可能性があると受け止めている。

①「きぼうの桜」植樹の意義は②復興支援など自治体交流について今後考えている事は。③観光資源として今後どのように育み展開していくのか。

(答)**政策室長**　①きぼうの桜は東日本大震災により被災した東北各地を中心に復興のシンボルとして植樹している。吉川市では自然災害の脅威を後世に伝えていく事や、東日本大震災復興の絆、宇宙への思い、新たな観光資源としてきぼうの桜を植樹するものである。②これまでも福島県飯館村へ職員派遣、飯館村長に講話を頂くなど交流をしている。今後も観光面などをはじめ、様々な形で交流が続けられるよう努める。

(答)**産業振興部長**　③宇宙へ行った名桜は日本の宝であり、その希少価値の高さから、観光名所として期待されている。市観光協会さくら部会をはじめ、多くの方々とともに、観光資源としての活用を検討する。

SDGs４「質の高い教育をみんなに」

岩田　京子

(問)　２０２０年から新学習指導要綱により英語が小学校で始まるが、取組について伺う。

(答)**教育部長**　現在、移行措置として、３、４年生で15時間「聞くこと」「話すこと」を中心に、５、６年生で50時間「読むこと」「書くこと」を中心に指導中。２０２０年完全実施に向け、さらに20時間増の準備を進めている。

(問)　プラス20時間の確保の方法。

(答)**教育長**　開校記念日を授業日に。また、夏季休業日の短縮を考えている。

(問)　英語はアクティブラーニングと毎日触れることが大切。帯学習で毎朝10分程度確保することで、時間の確保もできる。中学でじっくり取組めないフォニックス等に取組む方法もある。質の確保も大事で、ＡＬＴの先生の授業はどのくらいあるのか。

(答)**教育長**　毎回ＡＬＴの先生が入れるように、市費採用であるＡＬＴをさらに１名増員していく。

(問)　英語教育、ＡＬＴとのコミュニケーションに不安を持っている先生もいるのではないか。英語の専科を置く考えは。

(答)**教育長**　日本語の能力のあるＡＬＴを採用している。また、現場では様々な研修を行っている。英語の専科は、教員の配当数の関係で、全学校で入れるのは難しいが、一つの方法だと思う。

「寄付文化」の基盤づくりを

伊藤　正勝

(問)　国は子どもの貧困対策推進法を制定。国、県についで市も対策を検討している。子どもの支援を柱に善意の「寄付文化」を呼びかけてはどうか。基盤を固めてほしい。

(答)**こども福祉部長**　「子どもの支援」を持続可能なものとして進めるには意図や対象を明確にし市民、活動の担い手、行政の連携が必要。共感の得られる手法を考えたい。このほど市も対策の基本計画をまとめた。この中にも支援基金づくりを盛り込んでいる。寄付についてはフードドライブ（食料提供）の取り組みもふまえ検討したい。

(問)　市長主導の演劇振興も税金ではなく寄付でまかなってはどうか。今回市民から３００万円の寄付があったと聞く。以前に市長はご自身の給与を20％減額する条例も提案。否決されたがこうした精神を生かすこともあっていい。ご検討をいただきたい。

(答)**教育部長**　先日「文化芸術の振興に使ってほしい。」との趣旨で寄付があった。今後は演劇プロジェクトについて周知を図り、ご寄付を募ることを考えたい。

保育について

林　美希

(問)　市が雇用する保育士正規職員の役割と、子育てを取り巻く環境の変化を鑑みた保育の在り方を示す必要があると考えるが、市の見解は。

(答)**こども福祉部長**　来年度以降の正規保育士採用再開に向けた議論を行っているが、その中で子育て分野の様々な課題に対処するため、保育士がどのような役割を担っていくべきか明らかにしていく。

(問)　幼保無償化に伴う悪質な事業者の参入を防ぐため、無償化対象施設の範囲の設定をすべきと考えるが、市の見解は。

(答)**こども福祉部長**　国の動向を注視しながらその必要性について検討していく。

(問)　病児病後児保育において、インターネット予約など利便性の向上を要望してきたが進捗は。

(答)**こども福祉部長**　これまでの提案を踏まえ市ホームページで予約状況を公開しているが、インターネット予約は実施するに至っていない。

(問)　病児病後児保育施設を、病院併設型から保育施設併設型への移行を検討してはいかがか。

(答)**こども福祉部長**　他の自治体での取り組み事例などを今後調査していきたい。

常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、
担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。
主な審査内容を各常任委員長が要約して
お知らせします。

総務水道常任委員会

◆勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

時間外勤務の内容と、時間外勤務が多い職種（部署）は。

人口増加や確定申告など時期的なもの、災害対応など特殊な要因で時間外勤務が発生。保育幼稚園課では保育所などの職員分も含んでおり、職員数の多い部署は、合計時間数が多くなる。

賛成全員で可決

◆平成30年度一般会計補正予算

地方消費税交付金の増額補正の要因について。

精算基準が改められ、小売販売額が75％から50％、従業者数が7・5％から0％、人口が17・5％から50％となり、この変更による影響額が見込めなかった。

冷房設備対応臨時交付金の積算根拠について。

基本的に、小中学校の普通教室に新たに設置する空調設備が対象。23、400円／㎡に整備面積64㎡を乗じ、補助率1／3を乗じた額。国庫補助申請では特別教室も含めており、その内容で交付決定があった。

賛成全員で可決

◆平成31年度一般会計予算

公共施設改修に向けた財源の考えと、長寿命化計画策定事業1、923万円の根拠について。

長寿命化計画を策定することで公共施設等適正管理推進事業債が使える。計画策定事業費の根拠は、建築後20年以上経過し床面積が200㎡以上の65棟を対象として積算。

賛成多数で可決

文教福祉常任委員会

◆平成30年度吉川市一般会計補正予算

第二保育所の新園舎が完成するのはいつ頃か、駐車場は。

設計が終わり入札を6月に予定している。整備は7月から2月までを工期期間として予定している。2月中旬から下旬に新園舎に引っ越し、3月の卒業式は新園舎で行う予定。駐車場は、園舎を2階建てとしスペースを確保し現8台から15台とする。

賛成全員で可決

◆平成31年度吉川市一般会計予算

手話言語条例検討委員会のメンバー構成は。

学識経験者、障がい団体の方々、ボランティア団体の方々聴覚障がい者の家族の方々で構成している。

点字プリンターを購入する予算を計上しているが、どの様に活用していくのか。また市民への貸し出しは。

点字ボランティアの活動の中で、点字カレンダーや点字封筒職員の名刺への点字入力等の作製に活用。市民への貸出しは今後研究していく。

人口の増加が著しい美南地区で、今後病児病後児保育を実施する予定はあるか。

現状その様な予定はない。現状の病児病後児保育室めぐみの利用者は、1日1、2人となっている。まずは既存のめぐみを有効活用していく。

学校から樹木剪定の要望がある、計画的に行っていないのか。

平成31年度より計画的に、31年度は旭小、三輪野江小を。

原案は賛成多数で可決

委員より予算に対する附帯意見が出され提案理由の説明、質疑、討論あり、賛成多数で附帯意見を可決

◆平成31年度吉川市一般会計予算に対する付帯意見

1、文化芸術活動を旗手事業として推進することについては、広範な市民や文化諸団体の合意の上で進めること。

2、市民劇団の結成や活動については、自主自立を目指し、支援すること。運営については、寄付金や参加費等で賄えるよう努めること。

3、総合的な政策を行うにあたっては、老若男女を問わず、幅広く文化芸術活動に触れられるよう展開すること。

建設生活常任委員会

◆吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業基金条例

この条例の設置目的は？

事業資金にするための保留地処分金と、建設発生土受入経路である市道の補修費用に充てるために徴収する建設発生土受入金の積立てである。

賛成全員で可決

◆平成31年度一般会計予算

自治会活動支援事業の内容は

95自治会で構成される自治連合会の中で、15名からなる理事会において、地域の課題解決に向け意見交換会をしていこうという声が上がった。課題や将来の方向などを研究していくもの。国でも地域課題解決のための協議組織を研究しており、これらの情報も参考とし、一年かけて研究していく。

ゾーン30の今後の計画は

美南地区の南側から整備している。今後は美南地区の北側の地区を計画する予定である。

賛成多数で可決

◆平成31年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計予算

建設発生土の受入期間はいつまでか。すでに本盛土された箇所にガラの混入はされていないか。再度確認を行わないのか。

建設発生土の受入は平成35年度までを計画している。すでに本盛土された都市計画道路上部については、盛土造成工事の中で敷き均し、締固めを行う際に最終確認がされているので再度確認する事は行わない。

賛成全員で可決

～議会を傍聴しませんか～
次回定例会の予定

市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

5月31日（金）本会議【開会日・議案上程】
6月4日（火）本会議【議案審議】
6月5日（水）委員会【総務水道・文教福祉】
6月6日（木）委員会【建設生活】
6月7日（金）委員会【請願審査】
6月11日（火）本会議【委員長報告】
6月12日（水）本会議【一般質問】
6月13日（木）本会議【一般質問】
6月14日（金）本会議【一般質問・閉会日】

本会議は午前10時、委員会は午前9時30分に開会します。
※議事運営上、日程が変更になる場合があります。

3月定例会　審議結果

≪市長提出議案≫

○＝賛成、×＝反対、議＝議長（議決には加わりません。）、◎＝議案提出者、－＝退席

議案名	議決結果	市民の会・無所属						共産				未来会議				自民			公明		
		濱田美弥	岩田京子	降旗聡	伊藤正勝	稲垣茂行	齋藤詔治	遠藤義法	雪田きよみ	佐藤清治	小林昭子	林美希	妹尾百合子	戸田馨	稲葉剛治	加藤克明	松﨑誠	中嶋通治	小野潔	五十嵐惠千子	互金次郎
専決処分事項の承認について（平成30年度吉川市一般会計補正予算（第３号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市少年センター条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川美南駅自由通路の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業基金条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
財産の無償譲渡について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
町の区域を新たに画することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
市道の路線認定及び廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
農業委員会の定数の過半数を認定農業者等及び認定農業者等に準ずるものとすることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
農業委員会委員の任命について（第14号議案～31号議案）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成30年度吉川市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成30年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成30年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成30年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成30年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成30年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成31年度吉川市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成31年度吉川市一般会計予算に対する付帯意見	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議	×	×	×
平成31年度吉川市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成31年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成31年度吉川市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成31年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成31年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成31年度吉川市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成31年度吉川市下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成30年度吉川市一般会計補正予算（第５号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	原案可決	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
教育委員会教育長の任命について	同意	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○

≪議員提出議案≫

沖縄県民投票の結果を尊重することを求める意見書（注１）	否決	○	○	○	―	○	○	○	○	◎	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
幼児教育・保育の無償化に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×
放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×
養育費の立替払いの制度の設置を求める意見書の提出について	原案可決	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×

＊会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、「自民」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」の略です。
注１：可否同数のため、地方自治法第116条１項の規定により議長が裁決権を行使しました。

表紙の写真

平成31年3月31日に第24回なまずの里マラソンが開催されました。今大会の参加者は6、140名。1、735名の市民のほか、県外からも2、156名が参加ありました。なまずの里マラソンは、今や吉川市の一大イベントとして、市内外の多くの方々に愛されています。参加者からは、マラソンのみでなく、なまず料理やお花見を楽しみにする声もあり、市のPRや地域社会の発展に大きく貢献するイベントとなっています。

編集後記

2月17日に行われた市長選挙、市議会議員補欠選挙で中原恵人市長が2期目をスタート。また女性市議会議員を新たに迎え、新体制のもと、新年度の市政にむかい早速2月25日から3月20日まで3月定例議会が開かれました。今後の市政への期待と課題を見据えて市長の施政方針演説に対して各会派の議員より代表質問がされました。それらを柱に、各常任委員会での質疑、各議員による一般質問が行われました。質問内容も防災、教育、福祉等多岐に渡り活発な議論が行われました。

3月20日に桜開花宣言されました。議会開会時頃はまだまだ寒い中、たくさんの傍聴をいただきありがとうございました。

小林　昭子

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。